

宮城県大崎保健所栗原支所 感染症発生動向調査情報

令和5年8月10日発行

1. 発生動向

上段は発生患者数、下段は定点当たり

疾 病	疫学週				判断基準(定点当たり)				
	28 週		29 週		30 週		31 週	警報レベル	注意レベル
	7月10日 ～ 7月16日	7月17日 ～ 7月23日	7月24日 ～ 7月30日	7月31日 ～ 8月6日	開始基準値	収束基準値	基準値		
水痘	0	0	0	0	2	1	1		
流行性耳下腺炎	0	0	0	0	6	2	3		
感染性胃腸炎	14 7.00	4 2.00	5 2.50	13 6.50	20	12	-		
手足口病	16 8.00	15 7.50	18 9.00	19 9.50	5	2	-		
伝染性紅斑	0	0	0	0	2	1	-		
突発性発しん	0	1 0.50	0	1 0.50	-	-	-		
ヘルパンギーナ	20 10.00	20 10.00	10 5.00	5 2.50	6	2	-		
インフルエンザ#	0	0	0	0	30	10	10		
新型コロナウイルス感染症#	46 15.33	32 10.67	59 19.67	87 29.00	-	-	-		
咽頭結膜熱	1 0.50	3 1.50	0	2 1.00	3	1	-		
流行性角結膜炎	定点設定なし				8	4	-		
急性出血性結膜炎	定点設定なし				1	0.1	-		
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0	0	0	1 0.50	8	4	-		
細菌性髄膜炎(真菌性を含む)	定点設定なし				-	-	-		
無菌性髄膜炎	定点設定なし				-	-	-		
マイコプラズマ肺炎	定点設定なし				-	-	-		
クラミジア肺炎(オウム病は除く)	定点設定なし				-	-	-		
RSウイルス感染症	0	0	0	1 0.50	-	-	-		
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	定点設定なし				-	-	-		
マイコプラズマ肺炎(小児科)	0	0	0	0	-	-	-		
川崎病	0	0	0	0	-	-	-		
不明発疹症	0	0	0	0	-	-	-		

栗原支所管内定点数: #は3施設。それ以外は2施設

2. 施設対応状況 (過去2週間における支所対応状況)

◎:複数対応中、○:対応施設あり、-:対応無し

施設区分	保育所	高齢者・障害者入所施設	医療機関
対応状況	◎	○	○
備考	新型コロナウイルス感染症 手足口病	新型コロナウイルス感染症	新型コロナウイルス感染症

*「1.発生動向」の解釈について

・上段は圏域全体で一週間に診断した患者数
 ・下段は一つの定点(医療機関)において一週間に診断した患者数
 ・下段の定点当たりの数値を表右側の判断基準と照らし合わせて評価してください。

3. 栗原支所から

【 定点把握対象疾患 】

- ・ 新型コロナウイルス感染症は前週より9.33名増加し29.00名です。
- ・ 感染性胃腸炎は前週より4.00名増加し6.50名です。
- ・ 手足口病は前週より0.50名増加し9.50名となり、「警報レベル」継続中です。
- ・ ヘルパンギーナは前週より2.50名減少し2.50名です。

【 集団発生情報 】

医療機関並びに保育所において新型コロナウイルス感染症、保育所において手足口病の集団発生がありました。
 手洗い、換気、環境消毒、PPE着用、必要物品の補充等により、感染予防や拡大防止に努めましょう。

【 感染症コラム ～流行性角結膜炎～ 】

- ・ アデノウイルスを原因ウイルスとする急性の結膜炎で、夏季に流行がみられます。
- ・ 8～14日の潜伏期間を経て急性に発症し、流涙、眼脂が現れます。眼瞼結膜の強い充血と濾胞がみられ、眼瞼の浮腫を伴います。
- ・ 診断に眼科用の迅速診断キットが使われることもあります。
- ・ 主な感染経路は流涙、眼脂で汚染された手指やタオル類からの接触感染です。感染力が強いため、医療機関、職場、施設などで集団感染がみられることがあります。
- ・ 感染対策の基本は接触感染予防の徹底です。タオルなど患者が使用するものは共有せず個人用とし、消毒には次亜塩素酸ナトリウムの使用や、煮沸消毒をお勧めします。

大崎保健所 栗原支所 疾病対策班
 ☎0228-22-2117 ☎0228-22-7594
 HP:<https://www.pref.miyagi.jp/soshiki/nh-khhwzf/ktindex.html>